



独自の技術と経験をもとに様々なご提案をしている富士通パートナー「富士テレコム」。お役立ち情報を皆様にお届けいたします。

## ■今月のお役立ちテーマ■

### ① 自分の分身をつくろう

長嶺堅二郎



松下電工（現パナソニック）入社。1999年より同社エイジフリー事業に転進。介護専用型有料老人ホーム「エイジフリー・ライフ大和田 / 星が丘」の経営・運営に携わる。高齢者住宅関連のコンサルティングやスタッフ研修、講演、執筆活動を行い、他に大阪市立大学大学院非常勤講師、全国有料老人ホーム協会・大阪府地域福祉推進財団研修講師、日本応用老年学会顧問・新創美術協会副会長を務め、福祉サービス第3者評価調査者、ライフサポートアドバイザーの資格をもつ。CSねっと企画合同会社代表。

介護の世界は奥深いものです。介護施設や高齢者住宅に携わる皆さん、日々様々な出来事に出会う筈です。ご入居者の施設の生活の中でクレーム・事故・トラブルは付き物です。その中で報告・連絡・相談・記録・対策・根回し等が発生、又、CS向上・ES向上・品質管理・教育・指導・対話・仕組み作り等々と動きが伴ってきますし、自分に降りかかってきたことを全て自分で判断、処理することはなかなか難しいもの、自分の専門外、苦手なこととはいつてきます。

ご入居者や家族様は介護にかかわる全ての方を、介護のことなら何でも知っているプロとしてみたいですが、そうは参りません。まだまだ経験の浅い方や上位の資格、専門の資格を取っていない方も大勢います。そこで自分の苦手な所、不得意な所、経験・知識の浅い所を補ってくれる、サポートしてくれる人が居れば助かります。

幸い周りには看護師・介護士・PT・OT・ST・医師・薬剤師・音楽療法士・管理栄養士・調理師・レクリエーション介護士・臨床心理士・園芸療法士・ケアマネジャー・生活相談員・社会保険労務士・社会福祉士・弁護士・司法書士等々、見渡せば沢山のプロが、身近に内外にいるはずですよ。

お客様百人百様に応えるために日頃からそういった人たちとコミュニケーションを図り、何かあった時に直ぐに相談、アドバイスが得られるようにしておくことが大事です。何か問題、課題に遭遇するとき、意識をもってそういうネットワークを作っておけば、自信を持って対応出来ることになり、頼られるスタッフになり、自身もかなりのスキルアップになります。

ぜひ、「自分の分身作り」を進めましょう。ちなみに私は長嶺のNをとって「Nネットワーク」と名付けており、携帯に1000名以上登録してあります。

### ② 高まる介護の現場での口腔ケア

前田万亀子



編集会社およびデザイン会社勤務後、1993年にプランニング Maki を設立。多様な業種の広告・出版業務に携わり、大阪の ATC エイジレスセンターに事務所を設置したのをきっかけに福祉・介護分野に取り組み始める。高齢者の聞き取り取材や自分史、DVDづくりを手がける。介護関係の出版物『認知症ケア』『リハビリ体操』『口腔ケア』（ひかりのくに株式会社）など多数。CSねっと企画合同会社所属。一般社団法人 PORO 理事  
<http://omoide-poro.sakura.ne.jp/>

日々の業務に追われる介護現場では、高齢者の口腔の異変に気づきにくく、気づいたときには悪化していることも少なくないでしょう。口腔内の細菌は体力や抵抗力の弱っている高齢者にとっては大敵です。細菌が糖尿病や血管障害、心臓病などの疾患を招いたり、誤嚥性肺炎の原因になったりしかねません。結果的には介護者に負担がかかることとなります。予想以上に口腔ケアに効果があることを再認識することが大切です。

●口腔の機能維持・回復 ●口臭予防 ●虫歯や歯周病の予防 ●唾液分泌の促進 ●味覚の改善 ●低栄養の改善 ●口腔感染症の予防 ●全身疾患・誤嚥性肺炎予防 ●糖尿病予防 ●心臓病リスクの低下 ●食事の楽しみの回復 ●認知症の予防 など

特に、口腔ケアの効果の一つとして注目されているのが認知症予防です。「噛む」という行為が脳を活性化し、噛む力の低下は、脳の認知機能の低下を招く恐れがあります。何でも噛める人に比べ、よく噛めない人は認知症の発症リスクが1.5倍ということがいわれています。

一方で、食事を摂ること、食後に歯を磨くこと、義歯を洗うことが、「自立」の建前のもとに見逃されていることはないでしょうか。歯磨きを「自分でできるのでもらっています」、「できるだけ自立のためにしてもらっています」ということで、なおざりにしているようなことはないでしょうか。自立のために本人に歯磨きをしてもらうことで手を動かし、口腔を刺激するといった点では評価されますが、汚れが取れていないのであれば問題です。部分介助や効果判定、評価など、必ず介護者のサポートが必要で、それによってよい結果が得られます。高齢者のQOLの向上のためにも、必ず何らかのサポートを忘れないようにし、日常的な口腔ケアに徹底して取り組みたいものです。

～シニアメイト SaaS 便利機能のご紹介～

シニアメイト SaaS は高齢者住宅運営における「人・もの・お金」の管理を行い、施設運営に必要な「業務の標準化」や「見える化」を経営視点と実務視点の双方よりサポートします。シニアメイト SaaS のさまざまな機能の中で、本日は「償却管理」機能をご紹介します。

★★「複雑な償却金管理をシステム化で自動計算」★★



シニアメイトには、前払い家賃や入居一時金の管理が行える、「償却管理」機能があります。「償却管理」機能とは、入居一時金等の償却内容（入居一時金額、即時償却額、償却開始月、償却回数）を予め設定しておくことで、毎月の償却予定額を確認することができます。また、退去精算処理時は退去月までの償却が自動的に実行されます。

また、償却設定は1人の入居者に対し、複数の償却をつけることができます。クーリングオフや日割退去精算にも対応することが可能です。償却金の管理をシステム化することで、計算ミスによる誤請求防止や業務の効率化にお役立ていただけますので、煩雑な償却金管理の運用見直しをご検討の際は是非お問い合わせください。

このようにシニアメイト上で誰が・何回の償却があり、償却残額はいくらなのかを一覧で確認することができます。

●お問い合わせ先●  
03-3962-0222（担当：植村、森、小野寺）

■「シニアメイト SaaS」業務フローチャート■

